

令和 8 年 アユの遡上状況

資料 3
(報告時点：令和 8 年 5 月上旬)

河川名 (組合名)	相模川（相模川漁連）	酒匂川（酒匂川漁協）	早川（早川河川漁協）	千歳川（湯河原観光漁協）	多摩川（川崎河川漁協）
遡上開始の 時期と型	・開始時期：3 月 1 日 ・3 月 19 日まで遡上がほぼ無し ・型：平年より小さい	・4 月 1 日から 13 回の調査、5 月 25 日が最後です。 ・遡上は昨年と比較すると遅れているように思います。 ・型については例年と変わらず 6 ～ 10cm 程度	・遡上開始確認日：3 月 2 日 昨年より 2 日遅い。 ・型：5 ～ 7 cm	・3 月下旬時点確認出来ず。 ・4 月 6 日 千歳橋上流川端公園にて少数確認 例年より遅い ・型 昨年より小さい	・遡上開始時期 3 月 6 日 ・型：平年並み
その後の経過 (量・型・特徴等)	・3 月：例年より水が極端に少なかったため、3 月の合計遡上数 21, 066 尾（令和 7 年度 169, 424 尾） ・4 月：遡上数 4 月 30 日時点 431, 456 尾 ・3、4 月の計：452, 522 尾（令和 7 年度 1, 789, 420 尾）	・5 月 2 日現在、8 回の調査を行ったが天候不順で水温の低い日は遡上が悪い。 ・また通常は飯泉取水堰魚道及び魚道横のゲートから下流へ水が落ちているが、魚道横のゲート工事のため、代わりに右岸側のゲートを開けて水を下流へ落としているため、本来の流れになっていないため、魚道に遡上する稚鮎も変化がある。 ・右岸側から魚道横に流れは来ているが、ゲート上から見ると数十万程度の稚鮎が確認できます。	・遡上量：少ない ・型：平年よりやや小さめ ・まばらな遡上で、行列をなしての遡上が見られなかった。	4 月 ・遡上の確認は遅く大きな群れは無い ・水温は高めで遡上は良くない 4 月中旬 ・中河原橋付近に鮎は見られるが、4 月 2 日に放流した鮎が見られるため判別は難しい。 ・型は 3. 5 ～ 9cm 位	・雨が少ないので遡上が遅くなっている。 ・4 月に入ってから遡上数も増えた ・4 月になってどこの瀬にもアユを見ることが出来るようになった
遡上量の 多い日の量 (1 日当たり)	3 月 31 日 21, 066 尾 4 月 4 日 160, 440 尾	4 月 1 日 95 尾 4 月 3 日 10, 541 尾 4 月 6 日 25, 525 尾 4 月 10 日 23 尾 4 月 13 日 755 尾 4 月 17 日 9, 670 尾 4 月 23 日 21 尾 4 月 30 日 0 尾	昨年 10 月から今年 3 月まで雨が少なく川は渇水状態で鮎の遡上がしにくい状況であった。 3 月 約 500 尾／日 15, 000 尾／月 4 月 約 400 尾／日 12, 000 尾／月	・毎年であるが滞留場所が特定できず、群れは小さく 20 ～ 25 尾程度で、その確認も放流後であり判別不可 ・遡上は昨年をかなり下回る	3 月 29 日 晴 17. 5 度 2, 241 尾 3 月 30 日 晴 17. 8 度 1, 847 尾 3 月 31 日 雨 18. 0 度 1, 508 尾 4 月 12 日 晴 18. 0 度 1, 264 尾 4 月 13 日 晴 18. 6 度 900 尾 4 月 14 日 晴 19. 5 度 2, 904 尾 4 月 15 日 晴 20. 2 度 2, 305 尾 全長 5. 1 - 6. 9cm 平均 5. 9cm
昨年までとの 比較等	・3 月、4 月と併せて、相模川水系の水量が少ない。 ・相模湾のプランクトンが少なくなったことにより、遡上が少なくなっているのではないかと。理由として、台風などの出水が少ないため、プランクトンが発生しない。（研究者の方達が発表している） ・H17 年以降の少ない遡上数、昨年の 1/10 程度になる予想。	・昨年度と比較すると遡上は悪い。 ・しかし 4 月中旬頃に海で稚ウナギを採捕している網に稚鮎が多く入ったと採捕人からの情報、この時期に入るのは遅く、遡上が遅れていると思います。 ・また、特別採捕による天然遡上の稚鮎のくみ上げも、昨年はこの時期には採捕できていたが、今年は採捕できるまでの遡上量が少ない。	・遡上時期が若干遅く、サイズが小さく、遡上量が非常に少ない	・水温は高い ・遡上は平年より相当遅い ・型は昨年より小さい ・河川工事等により河川全体が浅くやや渇水	・昨年は 3 月に遡上が多かったが今年は雨の影響で遡上が遅い ・4 月に入って雨が合ったことで遡上が順調に推移している ・遡上は平年並みの 30 万から 40 万尾と思われる